



10月12日 東地申第3号

**鉄道の使命である「安全・安定輸送の確保とお客さまへのサービス品質向上」を求める申し入れ
について団体交渉を行う！（その1）**

申し入れ内容については「TOKYO MAIL NEWS No.43」をご参照ください



- **今回事象の原因は、輸送指令・運用指令・乗務員区当直間の意思疎通不足により計画書を再変したことが発端であった。
今後の対策として、指令の確認体制徹底や意見交換会などを開催していき、課題解決をしていく。**
- **夜間帯の乗務員操配が困難であることは認識している。基本的に泊地変更が発生しないように計画している。**
- **運転整理や車両故障時の判断については今後も現場の意見・判断を聞きながら行っていく。**

現場からの意見を尊重することを確認

1. 東中野駅で発生した人身事故で、運転整理を実施したことで乗務員操配により長時間の運転見合わせと機外停車が発生した原因と課題を明らかにすること。

回答：状況に合わせた運転整理の変更等が原因であり、引き続き適切な対応を行う考えである。

組 合

◆今回の事象において運転整理を行う上で問題となった原因を明らかにすること。

◆数日後に西荻窪駅において人身事故が発生した際も乗務員操配による遅延が発生した。具体的な対策を明らかにすること。

会 社

◆千葉駅折り返しの輸送計画を立てたが、現場との連絡に支障をきたしたため計画を再度見直した。また、輸送計画は2名体制で確認を行うことを基本としているが、中央線や中央総武緩行線の中野方面の整理で輸送計画の確認を1人体制で行ってしまった。今後の対策として輸送計画は2人体制での確認することを徹底していく考えである。

◆都度振り返りを行っている。今後は、東京総合指令室・中野電車区・中野車掌区・習志野運輸区・三鷹車両センター合同で意見交換会を継続して開催していく考えである。



10月12日 東地申第3号

鉄道の使命である「安全・安定輸送の確保とお客さまへのサービス品質向上」を求める申し入れ について団体交渉を行う！（その2）

2. 今回の事象を踏まえ、運転整理の考え方を明らかにすること。

回答：輸送障害発生時は、運転可能区間における折り返し運転等を実施するとともに、早期ダイヤ平復に努めていく。なお、輸送障害の発生状況により柔軟な対応を行っていく考えである。

5. 安全安定輸送の観点から夜間帯は運転整理を行わないこと。

回答：輸送障害発生時は、運転可能区間における折り返し運転等を実施するとともに、早期ダイヤ平復に努めていく。なお、輸送障害の発生状況により柔軟な対応を行っていく考えである。

※2項と5項について同時に議論を行った

組 合	会 社
<ul style="list-style-type: none"> ◆夜間での運転整理はやめてほしいと乗務員区当直から要望があったと聞いているが、そのうえで運転整理を行った理由を明らかにすること。 ◆輸送混乱時には輸送計画のみを重視せずに、乗務員操配を行う現場の意見を踏まえて輸送計画を検討すること。 ◆夜間帯の運転整理が手配漏れの原因だと考えている。基本的に行わないこと。 ◆駅ではお客さまからの不満、タクシー代行要請が多く発生した。納得いただけないお客さまもおり警察対応となった。タクシー代行の判断基準見直しや、駅への情報提供を改善すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆中野車掌区から声が上がったと聞いている。発生した時間帯から、お客さまご利用の状況を考えて運転整理をする判断をした。操配が困難なことは認識している。意見は承る。 ◆一方的に行うものではなく当然現場の意見を聞きながら行っていく考えである。お客さまへの輸送力確保と両輪であると考えている。 ◆事象により長期運転見合わせとなる場合などは行う考えである。制約を設けるつもりはないが検討していくところである。 ◆現場社員には迷惑をかけてしまった。意見は承る。対策を検討していくと共に情報共有を密に連携していく。また要請があれば意見交換会などを検討していく考えである。

3. 人身事故において車両故障などが発生した場合は、乗務員の判断を優先し、回送扱いを基本にすること。

回答：引き続き、状況に応じた対応を行っていく考えである。

組 合	会 社
<ul style="list-style-type: none"> ◆運行に支障のある故障が発生した場合は、直近の車両センター・電車区への臨時入区を基本とすること。 ◆故障発生時には現場の乗務員・検査係が車両点検・確認を行い、現場社員の判断を最優先として運用を検討すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆車両の修繕は三鷹車両センターでしか行えない。今回の事象では主張の通り習志野運輸区で応急処置を行うことが理想であるが、処置を行える要員、車両センターからの要請もある。基本的には現場からの意見を聞いて判断している。 ◆今回事象を受けて前面ガラスの状況などを聞くようにしている。異常時画像共有システムもある。現場からの情報をもとに総合的に判断していく。現場から意見を言っていたら良い。

4. 定期的に乗務員、当直、指令の意見交換会を実施すること。

回答：引き続き、必要な意見交換会は実施していく考えである。

組 合	会 社
<ul style="list-style-type: none"> ◆当直副長は意見交換会を行っているが、乗務員も参加させること。 ◆開催されていることを知らない社員がいるのが現状である。現場の意見を吸い上げられていない。内容の周知をすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆基本的に乗務員から直接ではなく、管理者が意見を吸い上げて行うことが望ましいと考えている。 ◆参加者のみで終わらないように展開していく考えである。

**同様の事象を発生させないために継続して対策・意見交換を行っていくことを確認！
安全安定輸送確保のために現場からも意見を主張していこう！**